

読者のコーナー

ごみ焼却炉問題 関心事になつて

オレンジ色のごみ収集車が、私のまちを走っている。車体には「330(ゼロ) 循環社会」と

いつメッセージが書かれていて、理想的な社会だと思ひ、その車を見送つた。

ごみゼロ。いまの社会では、不可能なかも知れない。しかし、ごみを減らすことはできるのではないだろうか。

こんなことを考えるのは、平成33年に稼働予定の広域(3市1町)のごみ処理施設が、およそ200億円もかけて、つくられるといふことを聞いたからだ。

2月11日に説明会があったので出掛けたが、館山会場に集まったのは17人で、多いとは言えなかった。ごみ処理施設ができるのは、安房グリーンライン沿いで、20秒も先の広さの土地を立地場所として確保するそうだ。

稼働開始予定の平成33年のごみ量が一番多く、その後は人口減少に伴い、ごみの量は減っていく。13万人の市町に日処理168tもの炉が必要なのだろうか。

いまだ決定されていない種類の炉(焼却、溶融、溶融炉にした場合、24時間燃やして続けなければならないそう)。人口が減り、ごみが減った場合、ほかの地域のごみが持ち込まれるということにならないだろうか。

分別せずに何でも燃やしてしまい、循環型社会とは反対のことにならないか。3月1日成田のごみ処理施設の溶融炉が緊急停止した。そのために1億円の補正予算が計上されたという新聞記事があり、絶対の安心・安全はないと感ずる。

安房の施設ではその後、広く意見を求める意

見書の提出(3月12日締切)があったが、知識がないと理解できない分厚い書類を読むのは難しかった。3市1町各地で、分かりやすい説明会を開いていただきたいと感じた。

安房地域は自然が豊かで、多くの観光客が訪れる。環境に配慮した循環型社会の実現がこの地域の魅力となる。

私たち一人一人が、ごみの40%を占めるとされる生ごみを堆肥化したり、分別したりしてリサイクルすることもできる。住民の声を十分に反映していただきたいと願う。

3月中にも、炉の種類が決まるそう。そして3年間の環境アセスメントを経て、建設が決まる。多くの人の関心事となりまう。

南房総市 八木幸枝

くであらう」と予刺した。事実、藩内では、佐幕色が濃厚でもあった。

忠崇は、最初遊撃隊士和田三郎、諸藩藩士3人を伴って、「主人に面会したい」と無理に城に入った。藩では老臣の渡辺と東と加藤且江が面接。忠崇は徳川家の再興を図るため、義兵を連れて参ったが、どうしても藩と並山(にらちま)藩の力を借りて、東海道の諸侯を説得することにより、初志を遂げたいと力説した。

老臣は「意見としては承るが、返答は明日したい」と即答を避けた。忠崇は、再三にわたって決断するよう迫った。要するにこの時城にいた前藩主忠愍

(たまたま)は、忠崇には会おうとせず、従って忠崇を盟主とするつもりもせず、むしろ行動を自ずするよう努力め、その一方で、武蔵金子、兵糧を望みのままにするのを約束した。

当時、小田原は京都江戸を結ぶ交通の要衝にあり、藩は根拠の関を領下においていたため、官軍方は、藩に厳しい監視の目を向けていた。

忠崇は、仕方なく14日に城を出て、小田原海岸から船に乗り、根府川の河口に上陸して宿陣地である上ノ浦に戻った。

その後、忠崇は、甲府城を目指し占拠しようとしたが、断念して再び函領へ。(つづく)

ちょっと失礼



安房の施設ではその後、広く意見を求める意

読者のコーナー

住民不在のごみ処理計画

南房総3市1町、13万人のごみを1か所で処理する計画が進められていく。1日に168tもの処理できるというごみ処理施設の内容を決める検討委員会があるというが、内容は完全非公開。情報開示請求しても、開示請求できないことになっていく、といふこと。一体どうなっているのだろうか。

他地域のごみ処理施設と比較すると、1.5~2倍も処理量が多い計画で、あまりにも過大な施設であることが、全国のごみ処理施設問題に詳しい専門家に関き分かつた。

県と館山市ホームページに、館山市の1人あたりのごみ排出量(1239g)は、千葉県や全国の排出量(960g)と比較すると、「かなり高い」と、より一層の減量が必要である」と載っていた。千葉県53地域中50位、鴨川市は52位とワーストに2市が入っている。また、資源化率も千葉県平均23.4%に対して館山市は18.7%。全国を見ると100市町村以上が資源化率40%を達成している。

不十分な、ごみの分別資源化を改善すれば、焼却施設の規模や方式など、計画も大きく変わっていく。計画も大きく変わっていく。計画も大きく変わっていく。

ごみの大規模施設は初期投資だけでなく、設備の維持管理費用が財政を圧迫し、未来世代にも負担を残すことになる。こんな大事な計画を住民のなままと進められてしまっているのだろうか……。

そんなことを考えている中、知人から「市民参加のまちづくり」についての勉強会があると聞き、参加した。「住民参加のまちづくり」をしていく北海道二七〇町に視察に行かれた市会議員から、長期にわたる人口減

少・低迷から、人口増加へ転換した数少ない田舎として紹介され、特に印象に残ったのは町営温泉施設をつくる話だった。

計画段階から住民が参加し、論議が紛糾するところを織り込み済みで進められ、最終的には「身の丈にあったものを。子や孫に借金を残さないように」ということで中規模なものに落ち着いた。論議が終わった後の住民の言葉で、「自分は言う機会を与えられ、十分に意見を言ってきた。他の色々な意見も聞いて、なるほどなと思つた。自分の意見と違う結論になったが納得している」と。

今回の広域ごみ処理設計画も十分な論議が尽くされることを願う。

家具・インテリア 御相談ならぜひご自宅までお伺い

こんなときぜひお電話

- ほしい家具があるんだけどなかなか見つからない
- お部屋にあった家具のサイズがわかりにくい
- ご自宅にいくつかが椅子に座って試してみたい
- お部屋の窓にぴったりのカーテンや、合わせたカーベッドがほしい

各種商品カタログや商品見本お持ちしオーダーカーテン御見積り無料、一ヶ

漆器の **キムラ** 家具

館山市南町 信号際 TEL・FAX 0470-23-7065
インテリアコーディネーター登録

あなたの運勢

【4月17日】

1月生まれ 大吉。他人に期待せず自分に集中。誰のために頑張るのかよく考えて。

2月生まれ 大吉。パワー全開で動き出す結果

おことわり

佐野邦雄氏の奇書「戊辰戦争の戦跡を旅して」は、紙面の都合で休みます。

館山市 堀川武史

新築・リフォーム

天井 床 窓 水廻り キッチン

簡単な修繕も承ります

お気軽にお問い合わせ下さい!

建設 ☎0470-23-7065 館山市高井 853-1